
短編をまとめて連載小説にする

日南六町

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編をまとめて連載小説にする

【Nコード】

N8821Z

【作者名】

日南六町

【あらすじ】

短編って案外読まないものです。そのためここには様々な短編小説、その他1ページ完結の物のみを掲載する所とします。最初は原作数は少ないですがいずれ増える……？ のでしょうか……。

都合上、最後のページに必ず新しいものが入るわけではないので注意してください

それは賀藤登紀子と同じ床屋で刈り上げたんですか？（前書き）

銀魂、レンハウ篇の番外編です

それは賀藤登紀子と同じ床屋で刈り上げたんですか？

むかしむかしあるところにレンホウというそれはそれは襟の立った人物がいました

銀時「なんでまた回想シーン！？ いい加減にしろよ！」

レンホウは髪型に悩んでいました。自分の髪型を刈りあげにするかからあげにするか

新八「髪型をからあげってどんな髪型なんですか！」

でも髪型を刈り上げにするならいつそからあげでもいいんじゃないか、いやしかしからあげにすると刈り上げの感触が捨てがたい。かといって刈り上げにするとからあげのからとあげ、からあげにするとかりとあげが捨てがたくレンホウは迷っていました

銀時「刈り上げからあげってしつこ過ぎだろうが！」

彼女は床屋の前を通るたびにいつもこのことを考えていました

新八「よく何度もそんな長いこと考えられますね……」

ある日、彼女はふとある床屋に入りました

銀時「もうサッサと刈り上げてこの話終わらせてくれ！」

するとそこにはあの賀藤登紀子がありました

新八「あの賀藤登紀子ってどの賀藤登紀子!？」

賀藤登紀子は刈り上げをしていました。それを見たレンホウは……
店を飛び出しました

銀時「なんでだ! 先に刈り上げてたのがそんなにショックなのか
レンホウ!」

せっかくオンリーワンになれると思ったのに……レンホウはひどく
落ち込みました

新八「落ち込んでないで早く刈り上げて!」

レンホウは家に帰って夫にこのことを話しました。すると夫はこう
いいました。「たとえ同じことでも少しでも違えばそれはオンリー
ワンなのだから」

銀時「ナイス旦那! 床屋に行けレンホウ!」

さらに夫は「オンリーワンにならなくてもいい。元々自分自身がオ
ンリーワンなのだから」とレンホウに言いました。

新八「なんか……どっかの歌の歌詞みたいになってるんですけど……
…」

レンホウは走り出しました。立ちすぎた襟を気にすることもなく!

銀時「少しは気にしろレンホウ! お前それ痛くねえのか!」

走りに走ってさっき賀藤登紀子のいた床屋にレンホウはたどり着き

ました

新八「早くこの回想終わらせて！」

そして目の前にはバリカンを持った床屋の主人がいました……

銀時「なんで急に画面白くなるんだ！？ 時間飛ぶのか！？」

翌日、レンホウが自宅に帰ってきました。後ろ髪が刈り上げてあります。

新八「ついにレンホウが刈り上げた！」

主人は「それは賀藤登紀子と同じ床屋で刈りあげのか？」とききましたするとレンホウは

「いいえ自分で」

A〓C〓

銀時、新八「なんでここでACだ！」

そう、レンホウはその時……

マジやばーい 仲間と ポポポポーン

銀時、新八「またACかい！」

銀時「なんでポポポポーンを伏字にしてるんだ！」

新八「さつき床屋の主人、レンホウのマジやばい仲間たちにさよならイオンされてるじゃないですか！」

そしてレンホウは二番目の刈り上げ議員という名前を一番目にするべく仲間たちと暗躍したのでした

おしまい

銀時、新八「そりゃだれも見ようと思わないだろうが！」

ドロップキックがフミ子に炸裂した

それは賀藤登紀子と同じ床屋で刈り上げたんですか？（後書き）

ネタ探し中です。

IS 騒がす外野（前書き）

OVAでのスーパ―の光景とは完全に別物です。

IS 騒がす外野

ある夏休みの日の夕方……とあるスーパーでは異様な雰囲気が出
込めていた……

それはある人物たちを見ての事だった。スーパーの中にいた客や従
業員のほとんどの視線の先にいたのは……

「そういえばセシリアとかラウラとかスーパーってきたことがある
のか？」

「わたくしはデパートとかが多いのでこういう所は初めてで……」

「私もつい最近までは行ったことがなかった」

一夏たち専用機持ち6人だった。

夏休みも佳境に入ったある日、全員が一夏の帰省中に突撃訪問して
来ていた。あれやこれやと過ごしているとすでに夕方になっていた
ので夕食を一夏のために全員で作ることとなった。そのための材料
探しにやってきているのだが……

ザワザワ……

何やら周りが騒々しい。しかしそれを全く気にせずに一夏はカート
にカゴを上下に入れた。

騒々しい原因がわかっていないのは一夏だけのよう……

何せ美少女が五人（しかもいろんな種類）が一斉に現れたんですから……そりゃ騒ぎにもなりますよ……

向こうでは部活帰りと思われるナンパ高校生五人組が品定めをしているようで……

「うわー……レベル高ー」

「あの男ハーレムじゃん……うらやましい……」

「俺あの銀髪の子がいいな」

「俺はショートの子がいい」

「あつちのロングの子も捨てがたい……」

「なんとしても連絡先を掴むぞ！」

「……おー！」「……」

もちろんこの会話は一夏たちには全く届いていない。

一方の一夏達……女子ズがメニューのための食材探しを開始していた。

まずは鳳鈴音の場合……

「えーと……いるのはジャガイモと人参と玉ねぎと……」

手一杯に必要なものを持つ鈴。するとそこに現れたナンパ高校生B

「君、重そうだね？ 持ってあげようか？」

本人いわく最高の決めポーズを決めるナンパB。しかし……

「はあ？ 何言ってるの？ 重くもないのに持ってもらった必要なんてないし。あんた何様のつもり？」

鈴にバツサリと切り捨てられる

「で、でも……」

「うっさいわねー。しつこいのは嫌われるわよ」

「……………」

食い下がろうとしたが失敗。

続いてセシリア・オルコットの場合……

「あら……トマトが足りませんわ」

野菜売り場に戻るセシリア。トマトを見つけて取ろうとしたとき

「あっ……………」

ナンパ高校生Eも手を伸ばしてきた。どう考えても不自然だが。

「あ……これどうぞ……」

「そうですか。もらっておきますわ」

「で、できれば君の連絡先を……」

「島国の凡人に渡す連絡先などありませんわ」

一刀両断……

続いてラウラ・ボーデヴィツヒの場合

（おでんとは串に刺して煮るものなのか……串を買っておく必要があるな……）

また変な日本の知識を教えられたラウラ。まあクラリツサが原因だろうが。

串を手に入れたラウラに近づくナンパ高校生C

「君、これから俺とうまいキリマンジャロ飲みにいかない？」

旧式の口説き文句とおぼしきものでラウラに声をかける。しかしラウラは……

「はっ、貴様ごときにコーヒーの違いが判るとでも？」

「え？ え……そりゃ……」

「消える目障りだ」

「ひっ！」

持っていた串の袋を破って相手に突き付けたラウラだった……

続いてシャルロット・デュノアの場合……

シャル（一夏の言ってた大根おろし入りのから揚げを作る）

スーパー内の精肉店で鶏肉を買う。そこへ現れたのはナンパ高校生D

「彼女の分、全部払うよ」

そういつて五千円札を置くナンパD。しかし、シャルはそれを完全スルーして代金を払い終える。

「お、おい！ 君！」

「これ以上すると警察に通報するよ」

笑顔の向こうにとてつもない殺気が渦巻いていた。

最後に篠ノ之箒の場合……

「いいカレイはないものか……」

カレイを品定め中の箒。するとその後ろにナンパ高校生Aが……

「いい男はいかがかな？」

これまた本人曰く「これで落ちなかった女子はいない」と豪語しているやり方だった。

グイッ

「な、なんすんだ！」

ナンパAが振り向いたそこには

「俺の仲間に何やってんだ！」

一夏がいた……これを見た箒は

（俺の箒に何やってるんだ！ かあ……あいつめ！ あいつめ！）

暴走特急が急発進で発車していったとか。

その後六人は会計を済ませ織斑邸へと戻っていった。

無論、このナンパ五人組が他の買い物客に白い目で見られたという事は言うまでもない

IS 騒がす外野（後書き）

セシリアの料理下手を全員で止めるとは思いませんでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8821z/>

短編をまとめて連載小説にする

2011年12月27日19時49分発行